

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ポイントカードを地域通貨に！新ゆーゆーカードでふるさと活性化！
事業主体 (連絡先)	野沢温泉スタンプ会 下高井郡野沢温泉村大字豊郷 9622-2
事業区分	(6) エ 商業の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,711,100 円 (うち支援金：4,968,000 円)

事業内容

野沢温泉スタンプ会では、地域の消費拡大及び消費活性化を図るため、100 円につき 1 ポイントを付与し、満点の 300 ポイントまでためると 500 円の金券として使用できる「ゆーゆーカード」を発行してきました。しかし使用していたシステムは導入から 20 年経過し、機器等の老朽化により更新が必要なこと、また、大型店やインターネット販売での買い物が主流となったことで、村外への消費の流出が増加し地域経済の悪化やキャッシュレス決済の必要性から、キャッシュレス決済と地域通貨として利用可能なポイントを併用して使用できる「新・ゆーゆーカード」システムを導入し、地域経済の活性化を図った。



【新システム説明会】

【目標・ねらい】

- ①新カード村内所有者の増加
- ②村内消費額の増加
- ③キャッシュレス決済の推進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①新カード発行枚数 1,955 枚

野沢温泉村村民 3,445 名のうち 1,737 枚が村民発行であり全村民の 50%以上が所持した。

②ポイント販売ベースでの R3 年 11 月～R4 年 2 月の消費額は 51,643 千円あった。これは前年同期の推定金額 56,500 千円からコロナ禍の影響もあり減少した。

③キャッシュレス決済の利用は 104 名でカード所持者の 5%で利用額は 1,169 千円であった。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・村民への新カード発行が予定通り進むことが出来た。
- ・コロナ禍であったがある程度の消費を上げることが出来た
- ・キャッシュレス利用をしていない店でも利用があった

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ゆーゆーカードの加盟店を増やすため新規加盟店への説明会を行っていく。ポイントの付加価値を高めるため、イベント開催を行って、キャッシュレス決済の更なる推進を行うためチャージイベントや利用方法の説明など高齢者にも分かるよう実施していく。スマートフォンを利用してゆーゆーカードを利用できるようスマートフォンアプリの導入を行う、現在カードを所有している村内で消費するのは高齢者が多い、若い世代でもゆーゆーカードの利用を促すことが出来る。また野沢温泉村に訪れる観光客に対してもコストの掛からないスマートフォンアプリのゆーゆーカードを発行することが出来るようになるため村外の観光客の利用増加もすることが出来る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある